

ご自由にお持ち帰りください

## 釧路と炭鉱

釧路炭田で最大手だった太平洋炭砒は、最盛期には年間261万トン、戦後復興期には約5,000人の炭鉱マンが働き、地域を支える一大産業でした。現在も国内唯一の坑内採掘を行う炭鉱として稼働しています。釧路の海底下に広がる北の炭鉱の魅力についてお伝えします。

### 釧路炭砒の歴史

幕末の1856年、開港した箱館（函館）港へ石炭を供給するため、オソツナイ（現在の釧路市益浦）の海岸で北海道初の石炭採掘が行われました。

釧路炭田は石狩炭田にやや遅れて明治20（1887）年頃から石炭の近代的発掘が進められます。大正9（1920）年には、木村組春採炭鉱と三井鉱山釧路炭砒の合併により「太平洋炭砒株」が誕生。戦後は「機械化炭砒」として知られるようになり、多くの技術革新により昭和52（1977）年度には、最大の年間261万トンもの石炭を生産していました。

現在は海面下約200メートルの所で採掘しています。石炭層は5〜6度と緩やかな傾斜で海底下に伸び、現在の釧路区は東西約4・5キロメートル、南北約4キロメートルに広がっています。最大規模のときは、東西約12キロメートル、南北約10キロメートルの広さで、坑道の総延長は約240キロメートルにもなりました。



釧路炭砒と臨港鉄道

（広報くしろ平成28年2月号より引用して修正）

も太平洋炭砒株は生産を続けましたが、平成14（2002）年に地元企業出資の新会社「釧路コールマイン株」に引継がれ現在に至ります。釧路の炭砒はどこにあるの現在、釧路で採掘している石炭は、太平洋の沖合に向かつてあります。



旧太平洋炭砒「炭砒展示館」

住所：釧路市桜ヶ岡3丁目1-16  
開館時間：10:00～16:00  
休館日：毎週水曜日、年末年始  
入館料：大人300円、中学生以下200円

旧太平洋炭砒「炭砒展示館」  
釧路の炭砒が歩んできた道のりや、石炭が実際にどのように掘られているか学ぶことができます。特に、模擬坑道では、実際に石炭を採掘している現場にいるような体験ができます。

石炭とは、大昔の植物からできていることはよく知られています。主に湿地帯に繁茂していた植物が枯れた後に空気から遮断された状態で堆積、そして地下へ埋没し、とても長い時間をかけ地球の圧力と熱を受け形成されたものと考えられています（これを「石炭化」といいます）。ヨーロッパ、アメリカ、中国などの石炭は古生代石炭紀（約3億年前・三葉虫の時代）や中生代白亜紀（約1億年前・恐竜やアンモナイトの時代）に堆積したものです。日本では古第三紀以降、6500万年前よりも新しい時代のもものが中心です。釧路炭田も同様で4000万年前頃に形成されました。

## 採掘された石炭が消費地に運ばれるまで

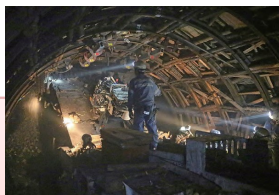
### ①「人車」に乗って海底下へ

「人車」と呼ばれるケーブルカーで石炭を掘る海底下の現場へ向かいます。人車は10両編成で最大240人が乗れます。



### ②坑道を掘り進む

炭砒を採掘する場所（切羽）を作るため、まず、石炭層を掘り進むコンティニアスマイナーと呼ばれる機械と、切り崩した石炭等を運ぶシャトルカーがセットになって、空気の通り道や石炭を掘り出すための坑道を作ります。



### ③採炭している現場

合金の硬い刃がついた直径1.8メートルのドラムカッターが石炭層を削り落とし、一日に約3,000トンの石炭を産出しています。また、切羽はシールド柱という機械が天盤の荷重（地圧）を支え、落盤等を防いでいます。



### ④石炭を海底から選炭工場へ

坑内で採掘された石炭はベルトコンベアに乗せられ、地上にある選炭工場へと運ばれます。毎時900トンの選炭能力をもち、製品となる石炭とそうでないもの（ズリ）に選別します。排水の水質など環境面にも十分な注意が払われています。



### ⑤鉄道で釧路港南埠頭へ運ぶ

製品となった石炭は、専用の貨車に積み込まれ、春採湖畔や弁天ヶ浜を通る鉄道で一日に数度、南埠頭（知人町）にある貯炭場に運ばれます。石炭列車にはファンも多く、臨港線は釧路の隠れた名所にもなっています。



### ⑥それぞれの消費地へ

貯炭場の石炭は、専用船に積み込まれた後、国内各地の火力発電所に運ばれ、その燃料として利用されます。また、一般産業用としても利用されています。



## 支店のある町

### 東藻琴支店

今回は、藻琴山山麓に位置し、畑作・酪農が盛んな大空町東藻琴地区の拠点店舗、東藻琴支店・斉藤孝支店長に町の見所を伺います。



東藻琴支店長  
斉藤 孝

東藻琴は南に藻琴山がそびえ、豊かな水源に恵まれた美しいところです。主な産業は農業で、作物は麦類、じゃがいも、甜菜、豆類、野菜など多岐にわたります。また、藻琴山山麓には酪農地帯が広がり、最高の環境で育った牛から作られた牛肉、牛乳、チーズは絶品です。春に咲き乱れる芝桜公園の芝桜など観光名所もございます。是非多くの方に東藻琴の魅力を知って頂きたいと思っております。

## おすすめのスポット



館内



ジオラマ模型



### ひがしもこと乳酪館

住所：大空町東藻琴409番地の1  
時間：9：00～17：30  
休館日：5月～10月 月曜日  
11月～4月 月曜日・火曜日  
入館料：見学無料

### ひがしもこと乳酪館

東藻琴特産品のチーズなどの乳製品を製造する施設。施設内では製造過程を見学できる他、昔ながらのチーズ作りを再現したジオラマ模型をはじめ、東藻琴におけるチーズ作りの歴史などを学ぶことができます。その他、販売・試食コーナーではソフトクリームや東藻琴産チーズをふんだんに使ったピザを味わうことができます。



### ひがしもこと芝桜公園

住所：大空町東藻琴末広393番地  
期間：5月3日～6月第1日曜日  
時間：8：00～17：00  
入園料：大人(中学生以上) 500円  
小人(小学生以下) 250円

### ひがしもこと芝桜公園

ピークは5月中旬から下旬で、ピンクの絨毯が一面に広がります。公園内丘陵地の最高点に作られた展望台からみおろす景色は絶景で、遊覧車が中腹まで走っており、上りに自信のない方も安心です。その他、芝桜の中に作られたゴーカート場や釣堀などもあり、子供からお年寄りまで楽しむことができます。

## おすすめのお店・逸品



ソーセージ・ハム



ホットドック

### 大空フーズ

住所：大空町東藻琴85の33  
電話番号：0152-66-2388  
営業時間：10：00～18：00  
定休日：火曜日

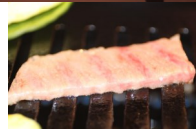


### 大空フーズ

手作りソーセージ・ハムのお店です。ソーセージは皮がパリッと弾けると、これでもか!と思えるほどの肉厚を口の中いっぱいに感じられ、衝撃を受けます。また、ハムは少し焼いて食べるのがオススメで、肉の脂が舌の上でとろけます。店内にはイートインスペースも完備され、ソーセージ・ハムを生かした食事(パスタやホットドック)が食べられます。



肉の日の  
店長オススメ品



和牛握り



### まる

住所：大空町東藻琴北2区55の3  
電話番号：0152-66-3101  
営業時間：17：00～22：00  
定休日：日曜日

※29日が日曜日の場合、特別営業の場合あり(電話にて要確認)

### まる

高品質の黒毛和種「知床牛」を飼育するカネダイ大橋牧場の直営店です。オススメは毎月29日(肉の日)のみに行う焼肉で、その日卸した牛からとれる希少部位を食べることが出来ます。肉の日以外も居酒屋として酒・料理ともに充実しており、その日のオススメ品はもちろんのこと、刺身、焼鳥、サラダなどどれも頼んでも絶品です。



## 地域のイベント情報

### あばしりネイチャークルーズ【網走市】4月20日～10月31日

【開催場所】道の駅「流水街道網走」

【イベント内容】4月から運航を開始します。4～5月は「ミンククジラ」や「ミズナギドリ」の群れがかなりの確率で見られます。また6月に入ると「イシイルカ」、9月からは「カマイルカ」や「ツチクジラ」が見られます。今年は4月から10月の7ヶ月間の運航となります。

【問い合わせ先】網走市観光協会 TEL(0152)44-5849



### ひがしもと芝桜まつり【大空町】5月3日～6月上旬

【開催場所】東藻琴芝桜公園

【イベント内容】芝桜が咲き始める5月上旬から繰り広げられるイベント。歌謡ステージ、カラオケ大会、各種ゲームなど盛りだくさん。

【問い合わせ先】芝桜まつり実行委員会 TEL(0152)66-3111

### 知床S-1自慢まつりinウトロ【斜里町】5月20日（予定）

【開催場所】道の駅うとろ・シリエトク敷地内

【イベント内容】知床の極上食材を使った自慢のグルメが屋台形式で販売されます。

【問い合わせ先】知床斜里町観光協会 TEL(0152)22-2125



## ゆるキャラ紹介 vol. 1

網走信用金庫の営業エリア内のゆるキャラ達を紹介します！

### ニポネ



#### ニポネの誕生秘話

網走には昔話・巨鳥フーリの物語があり、話の最後にはフーリの再来が記されています。「ニポネ」はフーリから網走のみんなを守るヒーローとして誕生しました。

#### ニポネのモチーフ

ニポネは網走を代表する「ニポネ人形」と流水の天使「クリオネ」がモチーフとなっており、胸には網走市の花である「エゾムラサキツツジ」のバッジ、頭には北方系の民族をイメージした文様がついたハチマキを巻いています。

#### ニポネのワンポイント

ゆるきゃらグランプリ2017で北海道1位となりました。公式ホームページにて、ニポネに会えるイベントや、公式グッズなどもチェックできますので是非ご覧ください。

### 能取みさき



#### 能取みさきの誕生秘話

「みさきちゃん」は網走のイメージキャラクターとして誕生しました。網走の観光大使であり、「流水パタラ」として日々活動しています。

#### 能取みさきのモチーフ

「流水パタラ」がモチーフです。パタラとは、北方系少数民族ウイльта族の言葉で「お嬢さん」「娘さん」という意味で、パタラの衣装には「イルガ」と言われる紋様が刺繍されています。

# 地域のがんばる人

Vol.4

地域で活躍されている企業家を中心に紹介していきます。第4回目は、イタリア・シチリア州パレモ市で開かれたジェラートの国際大会にて日本人として初めて優勝されました株式会社リスの森 店長・高田聡さんです。

## ジェラート作りはじめて

祖父が始めた事業を手伝う形でアイスクリーム・ジェラートのお店「リスの森」に入社しました。今まで料理、特にジェラティエール（ジェラート職人）は未知の世界で、知識と経験を補うため、一生懸命勉強しました。時にはジェラート職人や材料を扱うメーカーの方に教えを受け、材料の配合や素材の生かし方を研究しました。この仕事をしていて嬉しいことは、お客様の笑顔を見られることです。先日お客様から「この子が初めて食べたアイス（ジェラート）はリスの森さんなんですよ」と声をかけられ、自分の作るジェラートがお客様の思い出の一部であることにとても感動しました。これからも、お客様の心に残るようなジェラートを作りに続けていきたいです。

## 国際大会に参加して

ジェラートは、イタリア語で「凍った」という意味をもつ氷菓です。発祥はイタリアのフィレンツェとされています。イタリアを始めヨーロッパでは身近な食べ物で、それぞれのお気に入りの店があるほどです。今回参加した大会は大きな大会で「自分の向き合い続けてきたジェラートが、世界でどこまで通用するか挑戦したい」との気持ちから出場を決意しました。日

味しいと感じてもらえるジェラートを」と思

い、まずは、向こうの方々の味覚を知ることから始めました。イタリアの現地の人は抹茶を苦手としている人が多く、その原因が「本当のおいしい抹茶を知らない」とことだと分かりました。日本の抹茶は芳醇な香りだけでなく、口の中いっぱい広がる「旨み」がありますが、現地で流通しているものは、かなり品質の悪いもので、抹茶とは呼べないようなものでした。そこで、本当の美味しい日本伝統の抹茶を使い「旨み」を生かした抹茶ジェラードで戦おうと決め、1年前から商品開発に取り組みました。今回作製した「風（なぎ）」は日本の美味しい抹茶を使用し、かつワインやはちみつを使い苦味を感じさせないよう工夫しました。また、コーヒীরフレイクをまぶし二口目以降も楽しんでもらえるよう仕上げました。

大会は書類審査を通過した45名（内、日本人は3名）で、ベテランから若手の新星まで粒ぞろいです。審査は、味はもちろんのこと、コンセプトや細かな製造方法のプレゼンなどで行われます。今回の審査委員長はまるで神の舌をもつような方で、使用した砂糖の種類と分量を当てられたときは驚きました。

結果発表では、以前から親交がある柴野さんが優勝者（一位）として呼ばれ、「流石だな、



たかだ・さとし／1985年生まれ 網走市出身。2006年リスの森（現在の株式会社リスの森）入社。美味しいジェラート作りを目指し鍛錬を続ける。2009年同社店長に就任。2017年ジェラートの国際大会で優勝。

## 今後挑戦したいこと

本大会は4日間で40万人が訪れ、期間中さまざまなイベントが行われます。その中に、ジェラート職人達のトークセッションがあり、私も参加しました。「日本の北海道網走から来たジェラート職人です」と自己紹介し、網走の魅力や伝えました。するとトークショーの後、観客の方から、網走について質問される機会があり、生まれ故郷の網走について、遠くイタリアの方が興味をもってくださることを嬉しく思いました。これからもジェラートを通して網走の魅力を発信していきたいと思っています。



アイスクリーム・ジェラートのお店『リスの森』  
住 所：網走市字呼人418番地  
電話番号：0152-48-3053  
ホームページ：http://www.risunomori.com  
営業時間：10:00～18:00(夏季最長)、10:00～16:00(冬季最短)  
定休日：不定休(冬季は水曜日)

## 取材を終えて

お話を聞けば聞くほど、その人柄に引き込まれ、「この方の作るジェラートは食べる人を幸せにするなあ」と思いました。機会があれば、イタリアにお店を出店したいとの夢をおもちのようで、取材した私も今から楽しみにしています。

## 編集後記

今回は平成30年4月14日にオープン予定の「小清水ツーリストセンター」についてお知らせします。小清水ツーリストセンターは、ビジターセンターとしての機能の他、道東初！『モンベル（直営店）』を併設した複合施設です。小清水町は、ひとつの町で海、湖、平地、山がそろっているという日本全国でも稀な町です。また、緯度が高いことから、はっきりとした四季があり、全国で見られる約半分の300種を超える野鳥を観察できるバードウォッチャーの聖地でもあります。本施設では、野鳥をはじめとした動植物に関する自然情報や、アウトドアスポーツ情報を入手することができ、モンベルショップでは充実のアウトドアアイテムをそろえることができます。注目のスポットです。